



PROPANE BUTANE COLEMAN TORCH

取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書を必ず
お読みいただき、正しくお使いの
うえ大切に保管してください。

保証書付



MODEL 170-8075

警告 (ガスを扱います。十分注意してください。)

使用ガス容器について

- ガスカートリッジ(容器)に表示してある注意事項を良く読んでからご使用ください。
- コールマン製品ではガス燃焼器具とガスカートリッジ(容器)を一体にした状態で設計、品質管理を行なっています。性能・安全を維持する為にもコールマン純正LPガス燃料[Tタイプ] 230g/470g ガスカートリッジ(容器)をご使用ください。
- 保管してあるガスカートリッジ(容器)はときどき点検して、サビが発生している場合には、できるだけ早く使用してください。
- ガスカートリッジ(容器)にLPガスの再充填はできません。
- 火気の近くや、ヒーター、コンロ、ストーブなどの熱気の当たる所に置かないでください。また、直射日光の当たる車内、トランクルームに放置しないでください。
- ガスカートリッジ(容器)は風通しの良い、湿気の少ない40℃以下の場所に容器キャップをはめて保管してください。また器具使用後は必ずガスカートリッジ(容器)を取り外して別々に保管してください。
- 中のガスを使い切ってから、燃えないゴミとして区分して捨ててください。使用済みのものでも火中には投げ捨てないでください。

使用場所について

- 換気に十分注意して、燃えやすい物、熱に弱い物、可燃性の壁から十分にはなして使用してください。
- 室内で使用の場合、危険な不完全燃焼を起さないため、5立方メートル/時以上の換気を行なってください。
- 火気の近くで使用しないでください。

使用上のご注意

- ガスカートリッジ(容器)の取り付け、取り外しは、換気のよい、火気のない場所(火気のない戸外)で、人の面前、燃えやすい物をさけて正確におこなってください。
- 故障または破損したと思われるときは、ご自分で修理せず、販売店または当社宛てに連絡してください。
- ガスカートリッジ(容器)を取り付けた際、ガス漏れ(玉ねぎの腐ったニオイがする)と思われる場合は、火気のない屋外に持ちだし、ガスをすべて発散させてください。
- 使用中と使用直後は、バーナーは高温になっています。手を触れないでください。
- ノズルが目詰まりを起してガスが出ない場合は、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。
- 器具を改造し、使用しないでください。

仕様

品名：コールマン トーチ

MODEL：170-8075

点火方式：圧電点火式

サイズ：約7.0×4.5×18.0(h)cm

本体重量：約210g

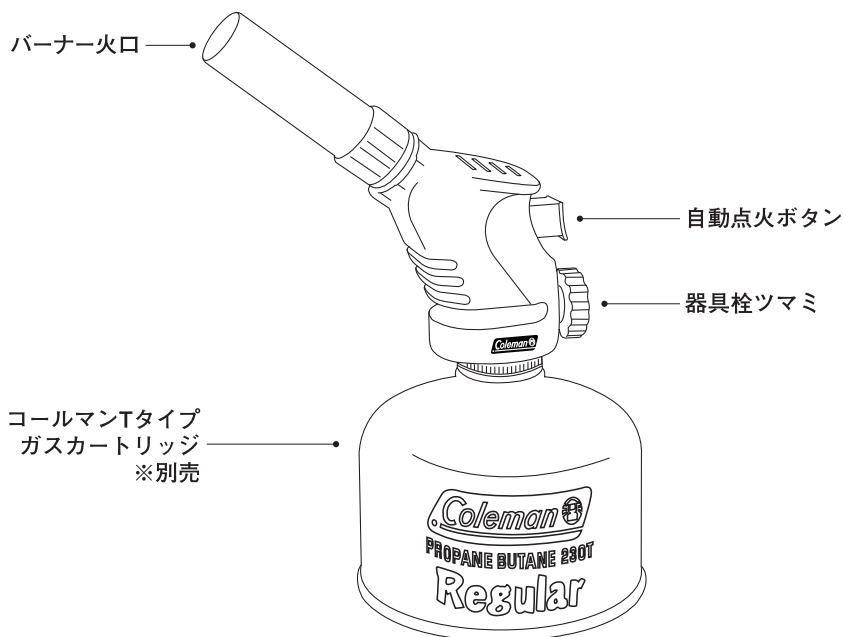
火炎温度：約1500℃

ガス消費量：約100g/h[1200kcal/h](レギュラー缶使用時)

使用ガスカートリッジ(容器)：

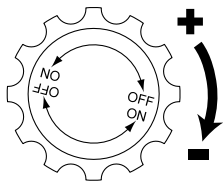
純正LPガス燃料 [Tタイプ] 230g,470g

各部の名称

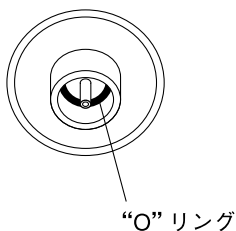


■点火の準備

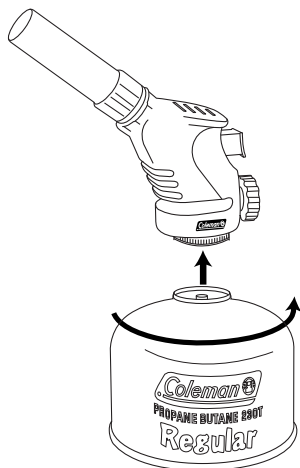
①器具栓ツマミが右(OFF)方向に止まるまで回っていることを確認してください。



②本体下部のガスカートリッジ接合部にある“O”リングに損傷がないことを確認します。



③ガスカートリッジ(容器)のキャップを取り、接合部に対して垂直に自然に止まるまで、ねじ込んでください。

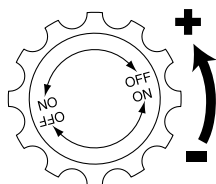


⚠ 準備時の注意

- 本体とガスカートリッジ(容器)を接続する前に必ずガスカートリッジ(容器)と本体のカートリッジ接続部をチェックして、破損していないかまた汚れやゴミ等が付着していないかを調べてから接続してください。
- ガスカートリッジ(容器)を取り付ける際は、無理に回し過ぎたり、斜めに取り付けたりすると接続部、ガスカートリッジ(容器)を破損するおそれがあります。

■点火の方法

器具栓ツマミを左(ON)方向に回し、自動点火ボタンを数回押して点火してください。



⚠ 点火時、火力調節時の注意

- 点火は本体を水平にした状態で行ってください。液状のままのガス噴射を防止するため、点火後1~2分は器具を動かさないでください。
- 点火しない場合器具栓ツマミを右(OFF)方向に回し、一度ガスを止め、また点火操作を最初からやり直してください。
- 器具栓ツマミを急激に回すと、炎が消えることがありますので、ご注意ください。
- 使用中はときどき正常に燃焼しているか確認してください。
- 逆さ使用に際しては、液状のままのガス噴射を防止するため、バーナー部分が十分温まってからご使用ください。
- 消火は、器具栓ツマミを完全に右(一)方向に回らなくなるまで回してください。火が消えても完全に回っていないとガス漏れします。

■消火

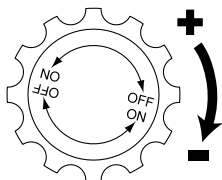
器具栓ツマミが右(OFF)方向に止まるまで回してください。
その際、確実に火が消えたことを確認してください。

⚠ 消火時の注意

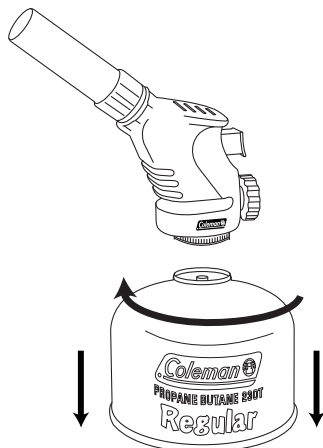
- 消火直後はバーナーは高温になっています。手を触れないでください。

■カートリッジ(容器)の取り外し方

①器具栓つまみが右(OFF)方向に止まるまで回っていることを確認してください。



②本体を押さえて、ガスカートリッジ(容器)を右(時計)方向に回して、垂直に外してください。



故障・異常の見分け方と処置方法

故障、異常の状態	原因	処置
ガス臭(玉ねぎの腐ったニオイ)がする。	●器具の故障	●使用を中止し、火気のない屋外へ持ちだしてください。器具栓つまみを開いてガスを大気中に発散させてください。器具の点検・修理を依頼する。
	●容器(カートリッジ)のセット方法の誤り。	●火気のない屋外でガスを大気中に発散させる。新しい容器(カートリッジ)を取扱説明書に従って正しくセットする。
ガスが残っているのにガスがでにくい。 (ガスの有無は器具を振ればセットしたカートリッジ内の液音でわかります。)	ノズル孔がガス中の不純物で詰った。	ノズルの交換を依頼する。
圧電点火しない。	●点火ユニットの故障。	点検・修理を依頼する。
	●スパーク発生電極の酸化。	点検・修理を依頼する。

